



桜丘まちづくりニュース

N08 平成22年2月



—快適に住み続けられるまちづくり— 発行：NPO世田谷桜丘まちづくり



～ 今年の世田谷桜丘まちづくりは！！～

昨年はミラノスカラ座の楽団員とピアニストのフィリップ・モルさんとのグリーンカアンサンブル演奏会が大きな反響を呼んだほか、シャンソンのコンサートも多くの皆様に好評をいただきました。また、コミュニティステーションには毎日のように皆様からの寄贈品が届けられて、必要とされる方々に喜んでお使いいただいています。そのリサイクルによる収入は NPO の活動資金としてすべて活用させていただいております。

今年も「NPO 世田谷桜丘まちづくり」は地域の皆様が安心して、健康で、文化的な生活を営むことができるように、様々な活動を行ってまいります。どうか買い物ついでに、またお出かけの行き帰りに、お気軽にコミュニティステーションにお立ち寄りいただき、ひと休みしながら地域のコミュニケーションを図っていくことにご活用ください。

私たちの活動はボランティアによって成り立っています。少しでも多くの方が空いた時間に事務所のお手伝いやお年寄りへの応援に協力していただくことが、この町を住みやすくすることにつながっていきます。どうか今年もよろしくご支援、ご協力をくださるようお願い申し上げます。 (理事長 荒井芳夫)

桜丘のニュース

東京農業大学 第86回箱根大学駅伝で5位入賞

平成22年の年頭を飾る東京箱根間往復大学駅伝(1月2・3日)にて、総合タイム11時間16分42秒の好タイムで堂々の5位入賞、来年のシード権を獲得したチームを優秀な成績に導いた前田直樹監督にお忙しい中、インタビューにに応じていただきました。

(前田監督談)



前田監督

昨年の大会は12位、44秒差でシード権を逃し大変悔しい思いをしました。幸い前大会経験者が7人残っていて、その悔しさをばねに選手自らが勝とうという気持ちで、4年の外丸主将を中心に今年の大会に向けて身の入った練習を続けてきました。

昨年10月の予選会ではトップ通過を目指して臨みましたが、駒大に次ぐ2位の成績で予選通過。タイムも思った以上によく、本大会では単にシード権を目指すだけでなく、できるだけ上位を、できれば3位以内を目標にしました。実際には、選手の体調もすべて万全というわけにもいかず、5位の成績はまず上出来と思っています。各大学の力が拮抗している中で、気が抜けない戦いではありましたが、全員がたすきの重さを感じ、プレッシャーをはねのけて肉体的にも精神的にもタフさを発揮してくれました。思ったより良い成績で来年に向けて気の緩みが出ないよう、今年5位より上を目指してこれからも厳しい練習で気を引き締めていくつもりです。

普段の練習では桜丘の周辺を走り、皆様には、温かい声援をいただき大変励みになっています。これからもよろしく応援してください。

□桜丘コミュニティステーションの活動目的

桜丘まちづくりの目的は、「安心して快適に住み続けられるまちづくり」です。その活動拠点として「コミュニティステーション」を開設し、その目的達成のために主な活動として「商店街の活性化」「リサイクルを通じての環境保護」「地域の人々の和づくり」のためのさまざまな活動は、本ニュースで紹介したとおりです。今年度も様々な活動を通じて快適に住み続けられるまちづくりをしていきたいと思っています。会員のボランティアで運営しておりますが、活動資金は皆様から提供していただきましたリサイクル品を資金源としております。物入れの中に眠っている贈答品などのご寄付・ご協力をお願いいたします。

「稲荷森稲荷神社」

当NPO事務所のある桜丘コミュニティステーションの目の前にある、稲荷森稲荷神社をシリーズ第1回目で紹介します。

読み方は「とうかんもりいなり」です。神社草創の記録は残っていませんが、室町時代の吉良氏の頃ではないかと考えられています。江戸時代の『新編武蔵風土記稿』には、「菅刈社」と表記されていて、その中で「地名を冠するのだから、古い由緒ある社であろう」と記されています。

この辺りは「菅刈庄」といわれていました（東へ約80m先にそれを記した案内板が設置されています）。

境内には昭和28年（1953年）頃まで大きな湧水池がありました。「奥州へ落ち延びた源義経を追って静御前がやってきて、当神社で一夜を明かした」との言い伝えもあります。

昭和20年（1945年）代初めまで樹齢300~400年を数える杉の神木もあり、鬱蒼とした森でこれが稲荷森といわれる所以でしょう。神社の前を往来する人々、馬方達はしばしばこの森を雨宿りや休憩に利用していたようです。江戸時代の馬方達が奉納した木彫「向い獅子」が旧拝殿（元の御神庫、拝殿向って右、瓦葺の建物）に現在も残っています。前の社務所は、戦争後の物資の乏しい時代に、境内の樹木を伐採し、それを製材して建てられました。残された大木も大気汚染などにより次々に枯れ、今では往時の森の姿は想像も出来ません。



世田谷名物の「ボロ市」はこの森で開かれた六斎市を起源としています。天正6年（1578年）に小田原城主北条氏政が上町に移しました。明治維新後、新政府により社地の大半が取り上げられ、また明治40年（1907年）には合祀廃社が強要されましたが、氏子有志は結束して独立維持を主張し、政府に立ち向かって神社を護持し、現在に至っています。

神社にある大きな太鼓は「あ・ん太鼓」と呼ばれ直径六尺（約2m）重さ6tもあり日本では4~5番目に大きい物です。これは「横根睦会」が商店に呼びかけてダンボールを集め、売ったお金で奉納したものです。

ペットボトルキャップの回収にご協力いただきありがとうございます

昨年一年間のペットボトルキャップ回収量は皆様のご協力により約3,000キログラムになりました。キャップ400個で1kgですから、120万個のキャップが集まったこととなります。昨年4月からは世田谷区からも1kgあたり10円の補助金が出ることになり、従来の加工業者への売却費、10円/kgと合わせて昨年は52,000円の収入を得ることができました。このお金はいつものように「世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄付して、発展途上国の子供たちの命を救うために利用されます。ポリオワクチン 2,600人分が贈られることとなります。これからも皆様のご協力をお願いいたします。

【平成22年今後の行事予定】 ※日程内容が変更になることもあります

- 月 日 : 桜まつり (町会との共催)
- 5月15日 : 古布・古着の回収
- 6月 : ジャズコンサート
- 7月 : 七夕飾り
: 参商会主催の納涼盆踊り大会
- 9月 : ペナントギャラリー
- 10月 日 : ウオーキングラリー
- 10月 : 稲荷森稲荷神社、宇山神社大祭
- 11月 : 区民センター祭り参加
- 11月13日 : 古布・古着の回収
- 12月11日 : オペラ (魔笛)

■子供まちづくりのスケジュール

- 3月 商店街PR誌づくり
 - 4月 センター祭り参加折り紙、コマづくり
 - 7月 七夕飾り
 - 9月 手作り
 - 10月 絵画
 - 10月 ハロウィン
 - 12月 クリスマス飾りなど盛りだくさん
- 友達もいっぱいできるよ
水曜日の午後からのぞいてみてね。



NPO 世田谷桜丘街づくり
こんな活動を計画しています



音楽コンサート

今年は12月にオペラコンサートを企画しています。多くの歌手、コーラス、舞台装置など桜丘では初めての大きかりな舞台に挑戦します。ご期待ください。

絵画コンクール

今年は第4回目になります。子供さんだけでなく大人も参加して商店街全体がギャラリーになればいいですね。

助けあい隊

ごみ出し、雑草取り、電球の交換、買い物の手伝いなどちょっとしたことに不自由されているお年寄りの応援をします。1時間当たり800円の有償ボランティアです。なんでもお困りのことがありましたらご相談ください。

03-3427-4181

文化の薫り高いまちづくり



高齢者に優しいまちづくり

毎週水曜日は駄菓子屋さんです。

駄菓子屋さん「お菓子の森」にはお母さんと一緒にたくさんの子供たちが集まります。単にお菓子を買うだけでなく、今年も田中先生の指導で絵を描いたり、さまざまなモノづくりを体験しましょう。お年寄りへのプレゼントや商店街の飾りつけもネ。行き帰りの挨拶や、ごみの後片付けなども自然に身に付きます。



古布・古着の回収

昨年11月には雨にもかかわらず7500kgを回収しました。次回は5月15日(土)に行きます。

ペットボトルのキャップ回収

皆様にご協力いただいているキャップ回収の収入で、子供の伝染病を防ぐワクチンをアフリカなどに送っています。

子どもまちづくり



環境に優しいまちづくり

ワンワンパトロール



発足して7年目、今や会員数153匹。地域の安全を確保しようとワンコを連れてのパトロールが地域に認知されてきたことが誇りです。まだ参加されていない方の入会を歓迎します。

誰でも、何でもサロン開設

NPO事務所の奥に、「誰でも・いつでも」なんでもサロン」を設けました。子供を一時預かってほしい。ちょっと打ち合わせで利用したい。教室で利用したいなどにご利用ください。
(14人位利用可)
30分500円で利用できます。

安全・安心のまちづくり



情報交流で快適なまちづくり

田中 章恵さんのプロフィール

社団法人二紀会同人、日本美術家連盟会員。98年武蔵野美術大学大学院修了
07年世界大賞展入賞、08年昭和会展、09年絵の現在選抜展金賞、雪梁舎フイ
レンツェ賞佳作など多くの画展に入賞、活躍の場を広げている。NPO世田谷桜丘
まちづくりの会員、毎週水曜日に開店する駄菓子屋さん「お菓子の森」で子どもた
ちに絵やものづくりの指導を行っている。桜丘1丁目在住。



* 子どものころの田中さんは？

おとなしい、人みしりのはげしい子どもでした。ピアノをずっと習っていたのでピアノ
の先生になりたかったり、お菓子屋さんになりたかったりいろいろでした。

* 絵を目指すようになったきっかけは？

音大に行くためにピアノを練習をするのが嫌になって、絵を描くのが大好きだった祖母に相談して、大学受
験の時に絵の道に進むことに決めました。小さい時から絵を描くのは好きでした。

* これからやりたいことは何ですか？

これからは東京だけでなく日本、そして世界の多くの人に私の作品を見てもらいたいと思います。最近絵
と音楽を結びつけたテーマで制作しています。今年最大の目標は12月に計画しているまちづくりコンサート
でオペラ「魔笛」を成功させること、音楽や絵の友人に協力してもらって、素晴らしい舞台を作りたい。また舞
台装置の制作や、子役での出演に桜丘地区の小中学生にも手伝ってもらい、地域のきずなを深める印象
に残る 舞台を創りたいと思っています。

* 子どもたちに期待すること

今の子供たちが自分たちの住みよい街を自分たちの手で自主的に作っていけるように、今のうちからまちづ
くりに参加してほしい。絵もそうであるように、何かを作る楽しみ、作り上げる喜びを知ってほしい。

* このまちをどんなまちにしたいですか？

芸術や文化の良さをどんどん取り入れて、皆が住みたくくなるような、優しく、楽しい、住みやすい明るいまちに
なるといいですね

田中さんの個展が2月15日～27日まで銀座のギャラリー「一枚の絵」で開かれています。
(東京都中央区銀座6-6-1 風月堂ビル 3F)

まちづくり賛助会員の紹介

NPO 世田谷桜丘まちづくりを支援していただいている賛助会員の皆様(敬称略)

桜丘地域に、事業所があり、私たちの活動に賛同し、日常の活動やイベントなどにご協力頂いています。

- | | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| ☆ 世田谷信用金庫船橋支店 | ☆ 水道機工㈱ | ☆ ㈱ライステック |
| ☆ ミサワホーム東京㈱ 世田谷支店 | ☆ 保田医院 | ☆ 伊藤内科胃腸科 |
| ☆ 東京土建組合けやき分会 | ☆ VIC 進学院 | ☆ 美容室ビューロード |

「NPO 世田谷桜丘まちづくり」の会員を募集しています。

次の世代を担う子供たちの育成・地域環境整備を目的に、音楽会、まちづくり祭り、古着・古布回収、ペットボトルキ
ャップ回収、ウォーキングラリー、助け合い隊などの活動を通じてより良い街づくりを目指しています。

稲荷神社前のコミュニティステーションまでお申し込みください。

会費 : 個人会員 1年間 3000円(月当たり 300円) 賛助会員 1年間・一口 5000円